

経営体の概要

- ・所在地:茨城県久慈郡大子町
- ・経営体名:豊田りんご園
- ・栽培作物・作付面積:リンゴ・9ha
- ・従業員数:15名(令和6年5月現在)

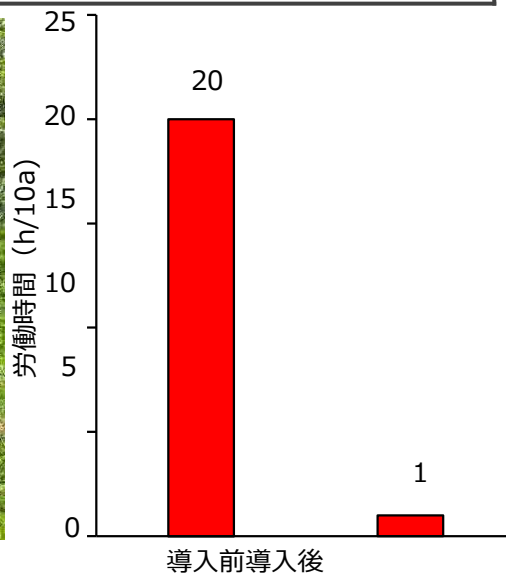
導入技術

- ・KRONOS(和同産業株式会社製)・ロボット草刈機

- 【特徴】・1台で最大30aの面積を草刈りできる。
- ・エリアワイヤーを設置したエリア内をランダムに走行しながら草刈りを行う。
 - ・バッテリー残量が少なくなると自動で充電ステーションへ戻り充電する。



図1:KRONOS設置時の様子

図2:導入前後の除草に係る年間労働時間
(調査方法:聞き取り調査)

導入経緯

- 豊田りんご園では、9haの樹園地の除草作業を人手により約20日おきに行っていた。そのため、除草にかかる人件費等の経費負担や夏季高温下等での作業に伴う労働者の負担が問題となっていた。
- そこで除草作業の無人化・省力化を目的に、令和2年度にロボット草刈機を5台導入した。
(活用した補助事業:経営継続補助金)

取組の特徴・効果

- ロボット草刈機を導入することで、設置圃場において除草作業の大部分を無人化・省力化出来た。
→収益につながる作業に注力することが可能となった。
(1年間の除草作業時間20h/10a→1h/10a)
- 夏季高温下、傾斜地、樹冠下での人手による除草作業が不要となったため、従業員の労働環境の改善につながった。
- 1週間おきに本体と充電ステーションをワイヤーを設置した別のほ場に移動させることにより、1台で約90aを除草することが可能となり、5台で樹園地面積の約半分(4.5ha)をカバー出来た。
→将来的には追加導入し、全面積の除草作業を無人化・省力化することで、さらなる経営の効率化を図る。